

福島大学

行政政策学類

キャリア教養学科

(※2022年度入学者から新カリキュラムとなります)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学当初からです。高校時代に国公立大学の受験に失敗した時、担任の先生から「桜の聖母短期大学は編入サポートが充実していて、実際に合格した先輩がいる」と教えていただき、私も もう一度受験をしたいと思うようになりました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

もともと編入希望でしたが、福島学や地域形成論の授業を通して、自分が編入後に学びたいことを明確にすることができました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

英語は1年生の前期から、編入希望者向けの授業を受けていたため、日常的に勉強する習慣ができました。小論文は2年生の前期から、キャリアデザインの授業で多くの先生方に添削してもらうことで鍛えられました。面接は夏休み中にキャリア支援センターで日程を組んでいただき、自分の学科以外の先生方と面接をすることで、緊張感を持って練習できました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

英語の勉強です。授業で先生にお勧めいただいた長文の問題集を計画的に進めました。試験前の夏休みは、たくさんの過去問に取り組み、時間内に問題が解けるよう繰り返し勉強しました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

編入試験に最も役に立ったのは、キャリアデザインの編入対策の授業です。各分野の時事問題について、それぞれの学科の先生方からお話を聞くことができ、知識を深められました。また、聖母短大には幅広い科目があるので、自分が研究したい内容を見つけることができました。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

「夜中は大事なことは考えない」ということです。私は夜に勉強することが多く、いろいろと考えてしまい不安になることもありましたが、この言葉を聞き勉強時間を変え、夜は自分の好きなことをすることで気が楽になった気がします。

Q. ①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①入学したらどんなことが学べるのだろう。編入対策はどんなことをするのだろう。

②高校とは違い幅広い分野が学べて楽しい。

③落ち着いて自分の実力を出し切ろう。

④正直自信はありませんでしたが、勉強してきたことを出し切ったので、すっきりしました。

Q. これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

聖母短大は、幅広い分野を学ぶことができ、新しい知識や気づきをたくさん得ることができると思います。編入するかどうかで迷っている人がいれば、聖母短大で様々な授業を受けてみることで、なりたい自分を見つけることができるかもしれません。

